

HSV-MC1

Version 1.0

リリースノート

2018 年 11 月

株式会社 エクスビジョン

HSV-MC1 をご購入いただきありがとうございます。本文書は HSV-MC1 のリリースノートです。

最初に同梱の「使用許諾契約書」をご確認ください。同意いただける場合、サポートされるシステム、同梱物、制限事項、取り扱い上の注意事項等についてご確認ください。

SDK のセットアップは同梱の DVD-R メディアから実行します。セットアップ完了後は、PC にセットアップされるドキュメント「HSV-MC1 製品ガイド.pdf」をお読みいただき、カメラユニットと PC との接続や各ツールの基本的な利用方法をご確認ください。

これらの一連の確認作業の後は、目的に応じて各ツールの使用方法やプログラミングガイドを参考に、評価・開発を進めてください。IMX382 に関する問い合わせに関しては、<http://www.sony-semicon.co.jp/contact/index.html>（ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社<お問い合わせフォーム>）から、お問い合わせください。

サポートされるシステム

- HSV-MC1 は、お客様にご用意いただく Windows がインストールされた PC にソフトウェア開発キット（SDK）をセットアップし、同梱のカメラユニットを接続して使用します。開発用 PC は 64bit 版である必要がありますが、ツールやライブラリ類は 32bit にも対応しています。

サポートされる開発用 PC の仕様

OS	Windows 7 SP1/10, 64bit 版
カメラユニットとの接続	USB 3.0 以上
CPU	Intel Core i5 2.0GHz 以上
メモリ	4GB 以上
ディスプレイ	1366×768 以上（推奨 1920×1080）：同梱の Visual Tool を使用する場合、OpenGL2.1 以降に対応しているグラフィックスドライバーが必要となります
キーボード	必須
マウス	必須

サポートされる開発ツール

Visual Studio	2013/2015/2017 各エディションに対応
---------------	---------------------------

同梱物

本リリースに含まれるものは次の通りです。内容をご確認の上、不足しているものがあれば HSV-MC1 購入先の営業担当窓口までご連絡をお願いします。

- HSV-MC1 カメラユニット本体（カラー/モノクロ、横型/縦型の別で次の型名のいずれか）

STC-MCV133U3V-SP	横型カラー
STC-MBV133U3V-SP	横型モノクロ
STC-MCV133U3V-TP	縦型カラー
STC-MBV133U3V-TP	縦型モノクロ

- SDK for HSV-MC1 DVD-R メディア
- リリースノート(本文書)
- 使用許諾契約書

HSV-MC1 カメラユニット本体

カメラユニットは内箱に格納されています。箱の封印シールをはがす前に、必ず「使用許諾契約書」をご確認の上、同意をお願いいたします。

SDK for HSV-MC1 DVD-R メディア

DVD-R メディアのシールをはがす前に、必ず「使用許諾契約書」をご確認の上、同意をお願いいたします。同意いただける場合は DVD-R メディアからセットアップを実行してください。セットアップで表示される使用許諾契約は同梱の印刷物と同じものですが、万が一内容が異なる場合は、同梱される印刷物を優先します。セットアップは開発に必要なソフトウェアとドキュメント類を PC にインストールし、開発に必要な設定を行います。セットアップ完了後は、Windows を再起動してください。

それぞれのフォルダーは次の様に構成されます。

開発用ファイル

ファイルの種類	フォルダー名
Windows ホストソフトウェア実行形式	bin
サンプル・デモプログラム	Samples
ヘッダーファイル	inc
32bit ライブラリ	lib¥x86
64bit ライブラリ	lib¥x64
インストーラーサンプル	DeploymentProjectSamples
再配布可能ファイル（インストーラー用マージモジュール）	MergeModule
HostApp 開発環境	devenv

Doc フォルダー

説明	ファイル名、フォルダー名
カメラユニット製品仕様書	17S028-02_STC-MxV133U3V_Spec_Manual_JP.pdf
使用許諾契約書	HSV-MC1 使用許諾契約書.rtf
セットアップのご注意	HSV-MC1 セットアップのご注意.txt
リリースノート	HSV-MC1 リリースノート.pdf
製品ガイド	HSV-MC1 製品ガイド.pdf
製品化にあたってのご注意	HSV-MC1 製品化にあたっての注意.pdf
Command Line Tool ユーザーガイド	HSVSDK Command Line Tool 使用方法.pdf
Test Viewer Tool ユーザーガイド	HSVSDK TestViewer Tool 使用方法.pdf
Visual Tool ユーザーガイド	HSVSDK Visual Tool 使用方法.pdf
Register File Editor ユーザーガイド	HSVSDK Register File Editor 使用方法.pdf
Host App プログラミングガイド	HSVSDK Host App プログラミングガイド.pdf
Visual Tool に関連するライセンスファイルが保存されています	VisualTool_License フォルダー

HSV SDK と HSV-MC1 の違いについて

- HSV-MC1 は HSV SDK のカメラユニットと比較して、Ethernet 接続や CU App (シーユー・アップ) と呼ばれるカメラユニット内で動作するアプリケーション、カメラユニット内の画像蓄積機能などに対応していません。センシング情報や撮影されたイメージは、Host App (ホスト・アップ) と呼ばれる Windows アプリケーションに転送してから処理します。
- レジスターの設定は、レンズも含めたカメラユニット全体の構成で調整していただく必要があります。HSV SDK と HSV-MC1 ではカメラユニットが異なるため、HSV SDK 用に調整されたレジスターの設定を HSV-MC1 で使用される場合、またその逆の場合も再調整してください。
- HSV-MC1 が対応していない CU App の開発に必要なツールやドキュメントは、本リリースには含まれておらず、両方のタイプのカメラユニットで利用できる共通のツール類では一部の利用できない機能に関わるインターフェイスはグレー表示などによって無効化されています。
- HSV-MC1 では HSV SDK と一部共通のドキュメント類をリリースしていますが、製品仕様の違い

から、上記の他にも対応していない機能や注意が必要な API 等の記述が含まれています。詳しくは各ドキュメントに注記、説明されています。特に HSV-MC1 で利用できない API や使用に注意が必要な API については Host App プログラミングガイドに詳しく説明されています。第 7 章の API 一覧には API の差分概要、第 8 章にはそれぞれの API の使い方や振る舞いの違い等を記載しました。HSV SDK 用に開発された Host App を HSV-MC1 に移植される際などは、これらの点にご注意ください。

取扱注意事項

- カメラユニットの固定やケーブル、レンズを装着する場合には、それぞれ外れないようにしっかりと取り付けを行い、本体やレンズが落下しないように注意してください。また、これらを装着することで、重心バランスが変化する場合があります。重心バランスが著しくずれてしまうと、本体が転倒、また、落下する危険性があるので、本体の重心バランスに十分注意してご使用ください。
- 本体の付属品以外の物を使用した場合、動作が不安定になる可能性や故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。

ソフトウェア関連のライセンス情報

HSV-MC1 のソフトウェアは、お客様の使用に制限のない範囲で、外部のソフトウェアを活用しています。

Visual Tool は、OSS (Open Source Software) を活用しており、ライセンスに関する情報は、本文書ではなく Visual Tool の操作画面および HSVSDK Visual Tool 使用方法.pdf で確認できます。

セットアップの方法

HSV-MC1 のご利用には、次の他社製ソフトウェアのダウンロードとインストールが必要です。

ソフトウェア	提供場所	提供会社
Sentech SDK Package (v1.0.5)	https://sentech.co.jp/support/index.html	オムロン センテック 株式会社
[Visual Studio 2013 用 Microsoft Visual C++ 再頒 布可能パッケージ]に含まれ る VCOMP120.dll	https://support.microsoft.com/ja-jp/help/2977003/the-latest-supported-visual-c-downloads から [Visual Studio 2013 用 Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージ] を探してダウンロードしてください	Microsoft Corporation
[Visual Studio 2015 用 Microsoft Visual C++ 再頒 布可能パッケージ]に含まれ る MSVCP140.dll, VCRUNTIME140.dll	https://support.microsoft.com/ja-jp/help/2977003/the-latest-supported-visual-c-downloads から [Visual Studio 2015 用 Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージ] を探してダウンロードしてください	Microsoft Corporation

オムロンセンテック株式会社から提供されるソフトウェアのダウンロードには、アクセス認証のためのアクセスキーが必要です、上記ページから[ソフトウェアダウンロード]ボタンを選び、必要に応じてアクセスキーの発行を行い、ソフトウェアをダウンロードしてください。アクセスキーの発行には、御社名、ご住所、ご担当者名、メールアドレス、電話番号等の登録が必要です。アクセスキーはメールで送信されます。(2018年10月現在)

VCOMP120.dll, MSVCP140.dll, VCRUNTIME140.dll については、Microsoft Visual Studio などによって、すでに Windows にセットアップ済みの場合があります。セットアップされていない場合には正常に動作しません。このような場合には上記 Visual C++再頒布可能パッケージをインストールしてください。